



# 九州工業大学 学生フォーミュラチーム

## **KIT-FORMULA**

2023年10月分  
活動報告書

# はじめに

日頃より九州工業大学学生フォーミュラチーム (KIT-formula)の活動に対し、多大なるご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。

設計に向けたデータ収集のため、走行会やシャーシダイナモ、他大学のマシン観察を行った月となりました。チーム一丸となって当面の目標である12/31の全体アッセンを遂行すべく尽力します。

10月分の活動報告書を作成致しました。各班の主な活動は、以下に記されております。御一読頂けたら幸いです。

\*全体アッセン・・・CAD上で各班設計したパーツを組み合わせたもの

KIT-Formula 2024年度代表 小林輝

下記SNS等で情報発信を行っております！  
よろしければぜひご覧ください！！



YouTube <https://www.youtube.com/user/kitformula>

Instagram <https://www.instagram.com/kitformula/>

X <https://twitter.com/kitformula>

HP <https://kitformula.watson.jp/>

# 【チーム全体の活動状況】

## 活動内容詳細

- ・ヤマハ発動機主催 強度設計基礎講座 10/3

ヤマハ発動機様が開催してくださった強度設計基礎講座に参加致しました。主な内容はモノの強度、応力に関する計算、安全率についてでした。1年生でもわかりやすい説明により、チーム全体の基礎知識を深めることができました。今後もいくつかの講座があるので積極的に参加していきたいと思えます。

- ・飯塚オート走行会 10/14、15、21、22

### 検証項目

- ・共和電業様からお借りしたセンサーを用いた検証
- ・燃調
- ・バラストを積んだ際のマシン挙動
- ・エアシフターのガスタンク容量と走行距離の関係
- ・騒音チェック
- ・エンデュランス走行下におけるブレーキディスクの温度

以上の項目を検証することができました。

また、一部ではありますが、一年生、二年生走行会も行うことができました。始めてマシンに乗った者からの感想は、

「マシン性能を直で感じる事ができて、学生フォーミュラへの関心がより高まった」

「この経験を設計の糧にしたい」

などの声が挙がりました。

代表としてメンバーのモチベーションの向上につながったことに喜びを感じました。



図1：走行会時マシン写真

・九州支部合同走行会 10/28

ダイハツ工業株式会社九州開発センター様からお借りしたテストコースにて九州支部合同試走会を行いました。

大会後、初の九州支部で走行会を行いました。参加校は以下の通りです。

九州工業大学  
久留米工業大学  
北九州市立大学  
崇城大学

テストコースとして使用されていることもあり、路面状況が非常に良い状態で走行することができました。そのおかげで、共和電業様からお借りしたセンサーを用いた検証ではノイズが少ない良好なデータを収集することができました。

ダイハツ工業株式会社九州開発センター様には感謝を申し上げます。

また、九州支部内での交流を深めることもでき、良い走行会となりました。



図2：ダイハツ様と九州支部メンバーの集合写真

### ・ダイナパックにて冷却検証 10/21

北九州自動車大学校様からダイナパックをお借りして、冷却効率のデータを収集しました。デフマウントに異常を感じ、様子を見ながらの実施でしたが、何とかデータを取ることができました。

\*ダイナパックとは、マシンのパワーチェックを行う際に必要な特殊な装置

### ・ボディのデザインレビュー 10/31

ボディ関連の第一回チーム内デザインレビューを行いました。デザインレビューとは設計方針を発表することを指します。時間の都合上、ボディ系、パワトレ系の二つに分け、今回はボディ系のみを行いました。B1からM2を交えた質疑応答によって、これから起こる問題、バックアップ案を検討することができました。また例年より、開催時期を早めたのにも関わらず、内容の質が向上していたことからチーム全体としてはレベルが上がっていると思います。





図3：デザインレビューの様子  
※一部、部外秘情報保護のため画像を挿入しております。

## 来月の活動予定

- ・デザインレビュー（パワートレイン系）
- ・ダイナパック2回目
- ・飯塚オートでの走行会